



西オーストラリア大学

自然科学・農学部



Faculty of Natural and Agricultural Sciences,
The University of Western Australia

●学部・大学院生 約25,000人（うち留学生 約5,000人） ●教職員 約3,700人

ホームページ <http://www.uwa.edu.au/>

交流協定締結年月日：2002年3月28日 主管学部：農学部



西オーストラリア大学の象徴ウインスロップ・ホール(1932年築)



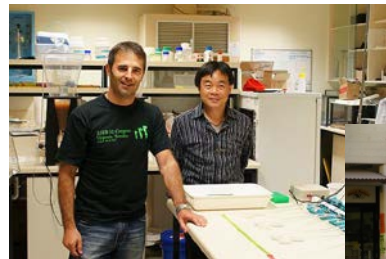
交流協定締結

国際交流の特色

西オーストラリア州の最も古い（1911年創立）教育研究機関として発展してきた。オーストラリア西海岸パース市スワン川沿いに位置し、オーストラリア西部の中核教育機関で農学・自然科学部は活発な教育・研究活動を行っている。西オーストラリア州は豊富な鉱物資源で知られているが高品質のワイン生産など農業も盛んで、様々な日本との貿易関係がある。インドネシアにも近く、中国・シンガポールなどアジアの学生を積極的に受け入れており、香川大学も農学部レベルで学術交流協定を調印している。

交流実績（平成27年度～29年度）

年度	H27	H28	H29
受入・派遣			
学生の受入	0	0	0
学生の派遣	0	0	0
研究者・職員の受入	0	0	0
研究者・職員の派遣	0	0	0



進化生物学研究センター



キャンパスの風景

教員からの声

西オーストラリア大学農学・自然科学部は砂漠や海岸など変化に富んだ自然を背景に西オーストラリア州の自然と環境を学ぶのに絶好の位置にあります。私は同学部進化生物学研究センターに約10ヶ月間客員研究員として滞在し、共同研究を行いました。ここは生物進化の基礎理論から希少種の保護や環境保全など様々なテーマで優秀な研究者が世界中から集まっています。気候は温暖で過ごしやすく、大学のすぐ横を流れるスワン川のほとりに降りて美しい景色を眺めていると、自然と研究のアイデアが湧いてきたものでした。

農学部准教授 安井行雄

約2ヶ月間、実験技術習得のため西オーストラリア大学自然科学部研究室に修士院生を派遣しました。研究室には日本人の研究者もおり、研究室の技官の家に下宿して生活しました。短時間で現地になれるのは大変で、特に生活習慣の違いや英語で苦勞したようです。大学の先生は皆外国人になっており、大学の学生向けケアをするシステムは充実しています。昨今の豪ドル高のため生活費は安くありませんが、小さな都市ですのでのんびりと大学生を送れると思います。

農学部特命教授 田島茂行